



監査報告書

2022年6月7日

社会福祉法人 手稲ロータス会
理事長 宮川 学 殿

監事 加賀三千博 
監事 橋本修一 

私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果


計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

監査結果報告書

2022年度 第^②1回 監事監査の結果について次のとおり報告します。


監事 加賀三千博 

監事 

監査日時	2022年9月16日(金) 9:00~11:30
監査場所	在宅地域支援施設 手稲ゆうゆう 2階応接室
監査実施内容	① 2022年度 第一四半期分 予算執行状況
	② 2022年度 第一四半期分 介護サービス利用状況
	③ 2022年度 第一四半期分 事故・苦情の状況
監査結果	① 2021年度 第一四半期の予算執行については、月次報告書に基づき資金収支計算書、事業活動計算書及び貸借対照表を精査した。その結果、予算執行が適正に行われていることを確認した。
	② 介護サービスの利用状況については、前年対比の「事業推移状況表」にて確認した。入所率が回復している事業所もあるが、厳しい事業所もある。低迷が続く事業所については、入所率向上に向け、更なる努力を願いたい。
	③ 事故の状況については、昨年と比較すると約3倍の事故が発生している。(昨年8件、今年度22件)誤嚥・誤食、転倒が増加している。また、制度改正により「施設の勤務医や嘱託医が施設内で処置した件数も含めることになった」ことも件数増加に繋がっている。
監査結果意見	<p>1 法人全体を通して、コロナの影響もあり収支状況が低迷していることから、役職員が現状を認識し、収支回復に向け、一層努力して頂きたい。</p> <p>2 事故防止は予防策、発生時の対応マニュアルの見直し等を定期的に行い、組織的に継続して取り組んで頂きたい。また、事故の報告書については、記載の仕方にバラツキがあるため統一して頂きたい。</p> <p>3 苦情については、利用者及び家族の視点に立ち、丁寧な対応に継続して取り組んで頂きたい。</p>

監査結果報告書

2022年度 第³回 監事監査の結果について次のとおり報告します。


監事 加賀三千博 


監事 原 子 茂 樹 

監査日時	2022年11月28日(月) 9:30~11:00
監査場所	在宅地域支援施設 手稲ゆうゆう 2階応接室
監査実施内容	① 2022年度 上半期の予算執行状況及び事業実施状況
	② 札幌市による監査・実地指導への対応状況
	③ 2022年度 事故・苦情(2022年7月~9月)の状況
監査結果	<p>法人全体の収支状況は前年比で悪化が続いている。特に老健手稲は厳しく、老健音更は大きく改善できている。</p> <p>① 各事業所の財務帳表を精査した結果、予算は適正に執行されている。また各財務帳表、関連明細書は適正に表示されている。 事業報告書では各事業所の計画に対する達成度合いに差が見受けられる。</p>
	<p>② 札幌市の保健福祉局による監査が本年8月に実施され指摘事項はあるが、その対応は適切になされている。</p>
	<p>③ 事故件数16件、苦情件数4件は前年同月と変化はなく、発生時の対応は適切に取られている。</p>
監査結果意見	<p>1 コロナの影響もあり収支が悪化している事業所は、職員のモチベーションを低下させることなく、法人全体で改善に向け取り組んで頂きたい。 事業報告書の「事業計画の評価」において上期の成果が思わしくない事業所は、要因を分析し下期に達成できるよう取り組んで頂きたい。</p> <p>2 事故防止は予防策、発生時の対応マニュアルの見直し等を定期的に行い、組織的に継続して取り組んで頂きたい。苦情については、引き続き丁寧な対応に努めて頂きたい。</p>

監査結果報告書

2022年度 第4回 監事監査の結果について次のとおり報告します。

監事 加賀 三千博 

監事 原 子茂樹 

監査日時	令和5年（2023年）3月16日（木） 9：30～11：40	
監査場所	在宅地域支援施設 手稲ゆうゆう 2階応接室	
監査実施内容	①	2022年度 第三四半期までの予算執行状況及び事業実施状況
	②	監査・実地指導及び事故・苦情の報告（2022年10月～2022年12月）
	③	2023年度 事業計画書(案)
結 果	①	<p>予算執行及び事業実施状況については月次報告書において精査した。</p> <p>収支状況は対前年比において回復している事業所がある。一方、多くの事業所は収益の減少、費用が増加している。このため法人全体の収支状況は対前年比、悪化している。</p> <p>個々の予算執行および事業活動は適正に行われている。</p>
	②	<p>監査・実地指導は実施されなかった。</p> <p>事故件数は21件、苦情件数は3件で対前年比と差はなかった。事故内容は転倒・転落関連が14件、誤薬が7件。対応は適切に取られている。</p> <p>前年件数 事故26件、苦情3件</p>
	③	2023年度 事業計画書(案)の内容を確認した。
監査結果意見	①	<p>コロナ禍の中、日々業務に当たられている職員の皆さんに敬意を表します。</p> <p>収支の改善に向け、法人全体で取り組んで頂きたい。</p>
	②	<p>事故、苦情は件数削減を目標に継続して取り組んで頂きたい。</p> <p>事故・苦情報告書は対応と結果の記載がされ、従前より分かりやすくなった。</p>
	③	<p>事業計画については各事業所で予定されている職員研修について、より充実した研修になるよう取り組んで頂きたい。</p>